

放射線量測定地点等の拡大についての陳情

[陳情の理由]

福島第一原子力発電所の事故による大量の放射性物質の漏洩は、広範囲の放射能汚染をもたらし、ここ台東区においても子どもたちが浴びた放射線量は、国際放射線防護委員会の勧告に基づき、我が国の法令で定められた年間1ミリシーベルトの被ばく量を超える恐れがあると考えられます。細胞分裂が盛んな成長期にある子どもたちは、大人よりもはるかに放射線の影響を受けやすいと言われてしています。

台東区でも、6月6日より独自での放射線測定と公表が始まりました。

この発表を受けて、区民はさらなる今後の台東区の放射性物質に対する取り組みに、期待の目を注いでおります。子どもたちは、私たち人類の未来そのものです。

力を合わせ大切な命を無駄な被ばくから守るために、以下のことを要望いたします。

[陳情事項]

以下、3項目について要望します。

1. 区は、空間放射線量の測定地点を増やす事。
2. 区は、砂場だけでなくスポーツ施設や公園等、子供が立ち入る可能性の有る部分の土壌分析を行う事。(例として、グラウンド、植え込みや木の下)
3. 区は、空間放射線量測定と土壌検査等の試料採取の日時、場所を事前に公表し、区民の立会い希望の申し出が有れば、立ち合いを許可する事。

以上

平成23年9月6日

台東区議会議長

青 柳 雅 之 殿